

元気いっぱい！ 白石っこ

第41回こどもまつり

5月27日、「第41回こどもまつり」を中央公民館で開催し、家族やスタッフなど約770人が参加しました。屋外では焼きマシュマロやシャボン玉、丸太切り体験、屋内ではハンマーダッシュや大縄とびなど、子どもたちが楽しめる遊び場をたくさん用意。また今年も、白石工業高等学校の生徒が電気を使った遊び体験や、指笛の製作体験コーナーなどを初めて設置し、まつりを盛り上げていました。

来場した子どもたちは思い思いにコーナーを巡りながら元気いっぱいに遊び、「友達と遊べてとても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。まつりには、ジュニアリーダーや高校生のボランティア、児童委員のほか、白石の活性化のために活動している大学生を中心としたグループ「ガクセイズム」など、多くの人たちがスタッフとして参加。今後も地域が連携して子どもたちの健全育成を応援していきます。



1_青空の下、いろいろな形のシャボン玉を作るのって楽しいね 2_標的をハンマーでアタック！ 屋内でも体を使って遊べるあそびがたくさん 3_ストライクを狙って第1投！ 大人気のペットボトルボウリング

種から育てた花を植栽

城花町しろいしプロジェクト第5弾

6月16日、花の植栽などを通して町中を彩り、白石の魅力アップを目指す「城花町しろいしプロジェクト」が行われました。この日は、市内外から有志40人が参加。各家庭で種から育てたマリーゴールドを持ち寄り、白石城周辺のプランターとJR白石駅前の花壇に植栽しました。参加者は「花を植えてきれいになってうれしいです」と話してくれました。また、この日は白石城本丸広場内で、桜の木への施肥と寄贈された十月桜の植樹も行われました。



▲JR白石駅前の花壇にマリーゴールドを植える参加者

ゆかりの地で歴史を体感

大鷹沢小児童が田植え体験と舞を披露

5月24日、大鷹沢小学校の児童が宮城野・信夫姉妹によるあだ討ち物語（奥州白石^{白石}）ゆかりの地、大鷹沢地区の八枚田で田植えを行いました。八枚田は、姉妹をまつった孝子堂前の8枚の水田。この日は、3年生8人が田植えをしている中、5年生22人が同小学校に受け継がれる団七踊りを披露しました。歴史上の舞台で初めて踊りを披露した児童は「伝統的な場所で踊ったのは初めてなので、緊張したけれどもうれしかったです」と笑顔で話してくれました。



▲丁寧に稲を植えていく3年生と真剣な表情で踊る5年生

時代を超えて 奥羽越列藩同盟

白石城で「白石会議」を開催

6月2日、「しろいし慕心プロジェクト」の取り組みのひとつとして、「白石会議」を白石城で開催しました。これは戊辰戦争150年の節目をきっかけに白石の歴史を学び「過去と今」「自分とまち」のつながりを認識する目的で開催したもので、この日は市内外から約2,800人が来場。白石会議ではラジオの生放送や、東京大学の本郷和人教授による講演会、奥羽越列藩同盟ゆかりの自治体の代表者によるトークセッションが行われ、参加者は真剣な表情で幕末の白石に思いを寄せていました。来場者は「本郷氏の講演やトークセッションを聞いて、150年前に白石が歴史の表舞台にあったことがよく分かりました。今後も白石の歴史を発信してほしいです」と話してくれました。

この日は、白石高校の生徒もスタッフとして参加。未来を担う若者が歴史をとらえて白石の過去と未来を考える貴重な経験となりました。



1_本郷氏による「戊辰戦争・幕末を語る」と題した歴史講演会 2_白石の素材をフレンチ風に仕立てて来場者へ振る舞ったブースでは白石高校の生徒がお手伝い 3_TBCラジオ番組「それいけミミゾー」の公開生放送が行われました

空手少年・少女が全国へ挑戦！

全日本少年少女空手道選手権大会に出場

4月22日、名取市で行われた第22回宮城県小学生空手道選手権大会で、「形・小学1年生女子」で一^{いち}條輝^{きくみ}映^{えい}さん（白二小1年）が優勝、「組手・小学2年生男子」で佐久間悠太^{さくまゆうた}くん（白一小2年）が準優勝を果たし、全国大会への出場を手にしました。好成績を喜ぶ2人はそれぞれ「形の正確性を磨いていきたい」「得意の逆突きや中段蹴りへのガードを練習していきたい」と大会までの精進を誓いました。全国大会は8月4・5日に東京武道館で開催されます。



▲大会へ意気込む一條さん（左）と佐久間くん（右）